

勃発的
不定期連載



第1回「ブーツ編」

プロが教えて誰でもできる

オフロードギアメンテナンスのツボつ!!



●オフブーツはとにかく過酷な状況で足を守ってくれる必需品。泥だらけになったブーツをそのままにしておくとどんどん劣化し、破損の原因になるぞ。

ツボを徹底してキレイにしちゃおうぜ!

第1回は一番汚れて厄介なブーツをピックアップ。せっかくだからレースやツーリングで使った泥だらけのブーツを徹底してキレイにしちゃおうぜ!

あ
から、気づけばもう11月。皆さん今年の走りはいかがでしたか。そろそろ冬本番という感じですが、寒い季節はちょっとお休み、というライダーも多いことでしょう。

遊び続ける人も、お休みの人も、1年の間に遊んで溜まった垢を落としましょう、ということでオフロードギアのメンテナンスをいろいろと取り上げるこの企画。しかもその道のプロの方にしっかりと話しを聞いてもらえばと思っております。

話を聞いた
プロフェッショナル!!



ガエルネブーツ日本総代理店
株式会社ジャベックス/三石 勲さん

今回講師をお願いしたのは「ガエルネ」のブーツを日本で販売しているジャベックスの三石さん。三石さんは、自らエンデューロや林道ツーリングを楽しむオフロードライダーにしてブーツのスペシャリスト。洗浄だけでなく、各パーツの交換方法や、保管方法などツボを押さえたアドバイスをいくつもくれたぞ。

今回用意したもの

ブーツメンテナンスで用意したのは左のようなどこでも手に入るものばかりだ。左から100円ショップで売っているブラシ、使い古しの歯ブラシ、ウエス。これに水道とホースが必要。例外として油分と防水性を上げるガエルネ ウォーターブルーフポリッシュ(900円税抜き)を使った。これはネットで入手可能だ。



OFF GEAR M

STEP 01 / とにかく洗え!!



8



2

1 1 まずバックルを起こして、ブーツをできるだけ開いた状態にする。水のまわりをよくするためだ。

2 2 ホースで水を全体にまんべんなくかけて泥を浮かす。水圧があればある程度の汚れはここで落ちてしまうだろう。



1



10

8 8 よくこすったら水で汚れを一掃。このとき、ただかけるだけでなく、ブラシを併用するといい。

10 10 外側だけでなく内側もしっかりすすぐこと。



9



3

STEP 02 / 落ちついて乾かせ!!

1 1 しっかり洗ったらしっかり乾かす! それぞれ鉄則。乾燥は風通しのいい日陰の場所で。中に新聞紙を入れて、水分を吸わせてもいい。



1

2 2 普通に立てて乾かしてもいいが、こうして紐などでブーツを吊るして逆さにすると、より早く乾燥するぞ。



2

1 1 ブラシに中性洗剤を垂らしてゴシゴシゴシゴシ。

5 5 ソールとの接合部やバックルの縫い目など細かい部分は歯ブラシを使うとよく落ちるぞ。

6 6 とくにバックル付近は隙間の奥まで泥が詰まっているので、よくゴシゴシすること。

7 7 ブーツの内側を覗いてみて、汚れがあるようならそこもしっかりとブラシで汚れを落とそう。



6



7



4



5

MAINTENANCE

STEP 03 / 油分をやさしくヌリヌリ!!

1 本革を使ったブーツは、洗浄して乾かすとその際に油分も一緒に抜けてしまう。そうすると革がひび割れて耐久性が落ちてしまうのだ。そこで皮革油を塗ってあげよう。今回は塗ると防水性もあがるガエルネウォータープルーフポリッシュを使用。

2 バックルの内側など細かい部分も忘れずに。

3 厚く塗らずに、薄く塗り広げるようにしていこう。

4 皮革油を塗ったら、ウエスでふきふき。油を塗りこむと同時に、余分な油を拭き取る。皮革油をたくさん塗りすぎるとそこだけクタクタになる恐れもあるので、塗り過ぎは厳禁だ。



STEP 04 / パーツを確認!! バックルの交換方法



- 1 せっかくのメンテなので、各パーツをチェックしておくことも大切だ。とくにバックルは壊れやすいパーツなので、ここで交換方法をご紹介。モデルはガエルネGアドベンチャー(2万5000円税抜き)。
- 2 バックルは内側の小さなビス2本で留まっているのでこれを緩めればすぐに取り外すことができる。
- 3 ビスはこんなに小さいので紛失に注意。
- 4 続いてベルトの取り外し方。写真のようにベルトをブーツの前方へ起こしてやる。
- 5 そうするとロックが外れてベルトはスルリと外れる。
- 6 バックルの反対に位置するストラップホルドを外すには、このように細めのマイナスドライバーを端に差し込み、てこの原理で起こしてやると……。
- 7 スポットと外すことができる。装着は逆手順だ。これらのバックル交換方法はガエルネの場合は基本的に同じ手順である。

メンテ完了!!

その差は
一目瞭然!!

メンテ前は全体が泥で黄色っぽくなっているが、メンテ後は白が輝いているのがわかるだろう。これで寿命も延びた。ブーツはけっこう高価な用品だから、長持ちさせたいならしっかりとメンテしてあげようね。



バックル タイプ A-2 2個セット(ビスつき)

■装着可能モデル:SG.10.FASTBACK、ED-PRO CORSA、'09サイファー-J、'09Jモタード
■価格:2600円(税抜き)



ストラップホールド

■適合モデル:SG.12.SG.10.FASTBACK、'09サイファー-J、'09Jモタード、ED-PRO(art.404,405)、BALANCE(DUE, TRE)、G-RS、'09タフギア、'09タフギアフラットetc
■価格:359円(税抜き)

ストラップ タイプA ロング2本セット

■適合モデル:SG.12.SG.10.FASTBACK、'09サイファー-J、'09Jモタード、ED-PRO CORSA
■価格:600円(税抜き)



補修パーツなどはネットで気軽に購入しよう!!

ガエルネの場合、バックル、ベルト、ストラップホールドなど、プラスチック系の消耗パーツから、シンガードのような大きなパーツまであらゆる予備パーツを揃えている。HPから気軽に購入できるので、自分のブーツで切れかかったベルトや破損したバックルがある場合は、自分で交換しよう。もちろんジャベックスにブーツを送って、交換修理してもらうことも可能だ。



ガエルネブーツの
問い合わせ

ジャベックス
☎03-3773-7633
(代表)
www.japex.net/

達人に聞く、ブーツメンテナンスのツボ!!

Q

オフロードブーツのメンテ
ナンスで大変なポイントは
どんなことでしょうか?

一番大切なのは、使った後や洗った後によく乾燥させることです。人間の足は1日でコップ1杯分の汗をかきますから、汚れていなくても乾燥は必要なんです。もし今回のように洗った場合は、2日から3日ほど乾燥にかかりますね。濡れた状態で風通しの悪い場所においておくとカビの原因などにもなります。

オフロードブーツはレース系とツーリング系の二つにわけられますが、レース系のブーツはご紹介した洗浄方法で問題ありません。注意したいのはツーリング系ブーツで革をたくさん使ったものです。外装、内装ともに革の物をジャブジャブ洗うと、蓄積された汚れが各部に回り、全体が汚れてしまうことがあるからです。本革のツーリングブーツの場合は、固く絞った雑巾で磨く感じできれいにしましょう。

ほど塗ると埃も付着しますからね。

レース系ブーツで注意したいのはつま先のトップ金具の錆や破損ですね。トップ金具はソールと本体の接着を守っている金具です。つま先が岩などにヒットするとその接着が剥がれる恐れがあるので、金具でガードしているわけですね。レース後はすぐに洗って、水分を取ってもらうか、錆びて古くなったら交換してください。プラスチックライバー1本で手軽に交換できますよ。

保管はできるだけ風通しのいい日陰の場所がいいですね。玄関などで湿気の少ない場所。カバーはあまり被せないほうがいいでしょう。最悪なのは外にある物置のような場所。寒暖の差が激しく湿気が溜まる場所ではプラスチックの劣化が激しいので、そんな所に保管しているとレース会場で履こうとしたらバックルが割れたり、ベルトが切れるなんてトラブルにあら確率が高いです。プラスチックもできるだけ使ってあげたほうが、寿命が延びる場合もありますね。ガエルネではブーツの修理やソール交換なども行なっているのでも、困ったことがあればなんでも相談してください!



●オイルの塗り過ぎに注意と三石さん。



●このトップ金具が外れるとソールが剥がれることも!